平成 30 年度

湖南市公共施設等マネジメント推進委員会
議事要旨

第1回会議

（平成 31 年1月 23 日開催）

湖南市財政課行政・公共施設適正化室

出席者

評価委員	委員長	新川　達郎
	委員	片岡　憲二
		服部　泰三
		望月　惇二
		西山　由記
		福島　由美子
事務局	副市長	谷口　繁弥
	総務部長	萩原　智行
	総務部次長	井上　俊也
	財政課行政・公共施設適正化室管理監	小林　義幸
	財政課行政・公共施設適正化室長補佐	青木　浩司
	財政課行政・公共施設適正化室主査	坂口　隼人

	開会　午前 10 時 00 分
事務局	副市長あいさつ
委員、事務局	委員および事務局の紹介
事務局	委員会の目的および運営方法等について説明
事務局	委員長の選出
委員長	委員長あいさつ
	議題 **1）湖南市公共施設等総合管理計画について**
事務局	事務局より、計画の概要および進捗状況等について説明
委員	東庁舎、西庁舎、保健センターなどが統合されると聞いているが、保健センターなどの施設は実際はどうなるのですか。
事務局	方向性としては、保健センターは統合という方向で進んでおりますが、実際どうなるかは進行途中です。
委員	社会福祉センターとサンライフ甲西が統合して、サンライフ甲西に機能が集約されるという話を聞いていますが、それはどうですか。
事務局	計画ではそのような形で進んでおりますが、まだ計画段階ですので、進行中です。
委員	保育園が民営化という方向で進んでいますが、施設は市の財産として市が管理していくのですか。
事務局	民営化する施設については、建物については法人等に譲渡する予定です。古い施設も多いので、譲渡後、建替えていただくということです。公が保育園を建てると全額市の負担となりますが、民間の法人が建てると市も含めて国・県の補助金が受けられるので、譲渡後に建替えていただくことになります。

委員	ということは、市の計画で進みつつある案件とこれから考えていく案件を分けて考えていくという事ですか。
事務局	個々の案件ごとに問題も異なるので、そういうことになります。
委員	取組の方向性の整理に記載されている方向性は具体的に決まっているということですか。
事務局	公共施設等総合管理計画を作成した時に、これだけの期間内にこれだけの検討を行っていこうという事を整理したものです。今後、若干の修正はでてくるものと考えています。
委員	こちらで示されている方向性と削減する面積や金額の削減目標は大体合ってきますか。
事務局	合ってくるようなイメージで作成しております。
委員	1万㎡の削減と金額の削減は達成をしなければいけないという事ですか。
事務局	達成をしていくという目標でいます。
委員	まだ先に検討する施設もありますが。
事務局	平成 28 年度に計画を作成しておりますので、作成時と利用実態が異なっている施設もございますので、そういった施設は前倒しで検討していくべきだと考えております。
委員長	優先的に検討している施設の進捗状況は把握しておられますか。
事務局	平成 30 年度につきましては、中央まちづくりセンターの廃止が決定しております。 学校や社会体育施設につきましては、教育施設管理計画を策定しております。 保育園につきましては民営化を進めておりますし、女性センターや勤労青少年ホームについても検討させていただいております。

委員長	できれば今後、各年度にそれぞれの具体的な検討状況について、各担当から情報をいただき、どこまで進んでいるのかを事務局で把握しておいていただくと、当委員会でも議論しやすくなるので、よろしくお願いします。
委員	雨山文化運動公園内に色々な施設があるが、全体として捉えずに施設ごとに方向性を示されているのは何故ですか。
事務局	建物ごとに整理をさせていただきましたので、施設ごとに方向性を示しております。
委員	現在、旧自然道場は吉永区が管理していますが、外のお手洗いは古く非常に使いにくい状況です。今後、八丈岩への登山等で人が増えることがあれば方向性が変わることはありますか。
事務局	旧自然道場としては廃止となっており、市の施設としての役割は終えさせていただいております。今までは、滋賀県が行われている“うみのこ”みたいな使い方をされていましたが、施設の老朽化等で敬遠されるようになりました。今後は、甲賀市や栗東市などと得意な分野を共同利用できるよう検討いたします。
委員	サンライフ甲西は商工会が一部入っていると思いますが、商工会の部分はどうなりますか。
事務局	商工会の部分は商工会の所有ですので、そのままです。
委員	サンライフ甲西が廃止した場合は商工会はどうなるのでしょうか。
事務局	現時点では、サンライフ甲西は継続する予定です。
委員	サンライフ甲西の建物は残るという事ですか。
事務局	サンライフ甲西は残し、一部改築または増築という計画になっております。
委員	何年か前に商工会からサンライフ甲西を売ってほしいという話があったと思うんですけれども、その話が発生する事はありますか。

事務局	社会福祉協議会などがこちらに入られる予定をしておりますので、今のところはございません。
委員	小学校などは今後は、統廃合を考えていかなくてはいけないのですか。
事務局	このまま人口減少が進み、各学年が1クラスになってきますと、人口に見合った施設となるように考える必要があります。 大津市では、保護者が学校を選べるという取組をされていますので、学区を柔軟に考える必要もあります。
委員長	まだ湖南市の場合は統廃合に至る状況ではありませんが、将来的には全市 1 区で子供たちの数に対応した学校を作るといった発想に代わる必要があります。
委員	水戸体育館については民間譲渡か廃止と書いていますが、健康寿命を延ばそうという事で進んでいる中で、地域的にも総合体育館に行くには遠いですし、考慮していただきたいと思います。
	議題 **2）市内公共施設の今後の在り方について**
事務局	事務局より、計画の概要および進捗状況等について説明
委員	西庁舎周辺は、特に文化ホールは市民の皆さんがいろんな形で利用されていますので、きちんと残してしていただきたいです。西庁舎自体は統合されるのはやむを得ないですが、市民の窓口が無くなると不便なので、それだけは残していただきたい。 文化ホールはどうなりますか。
事務局	何も決まっておりませんので、今後どうあるべきかを早く決めさせていただきたいと思います。
委員	仮に西庁舎を除却した場合、全体の何％の削減になりますか。
事務局	西庁舎は約 3 千㎡になりますので、約 3 千㎡の削減になります。

委員長	新たな庁舎に統合することで一定程度は合意ができるかと思いますが、機能集約をする中で当面は増やしていかなければいけないところも出てくると思います。それも含めて、全体としてバランスをとるのも重要な課題というように思っています。
委員	雨山文化運動公園内にある資料館が全然生かされていないので、湖南市民だけでなく、広く人が来てくれるような資料館づくりを考えないと、廃止するだけの施設になってしまうと思います。資料館が活発になると資料館を見に来られるので、特徴のある建物を無くさないようにしていただきたい。
事務局	雨山文化運動公園については石部公共サービスに指定管理を行っておりますが、維持管理だけの会社でしたので、あそこを活用して集客を増やそうというような会社ではなかったので、今後は、運営面にも力を入れた指定管理の在り方を考えていきます。
委員長	湖南市としてどういうところをどういう機能にこれから選択と集中していくかということ。そのために必要なものをどういう風に適正に配分をしていくかも含めて具体的に最も効果的にやれる方法を探していくか。指定管理者の制度の活用、また、民間施設の活用の仕方、それぞれについてこれからしっかりと議論いただけると思っています。 各委員からそれぞれ具体的な地域での施設の在り方や利用状況等についてご意見をいただき、併せて、今後の方向に関わる施設の意義、特徴についてもさまざまな意見をいただきました。貴重なご意見ありがとうございました。 **議題終了** **閉会　正午**